

リンクスの 事業再生現場

レポート 第82回



(株) リンクス

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館5F
TEL : 028-634-5088
Mail : info@rincs.biz
URL : http://www.rincs.biz/

【人手不足】

ヤマト運輸が荷受数量に上限を設け、宅配便の受入を抑制する方針を打ち出しました。増え続ける荷物と人手不足により、今までのビジネスモデルが継続できない状況になっています。

運輸業のみならず、介護・建設・小売・宿泊・飲食業他、多くの業界にて人手不足は深刻な経営課題であり、皆様、その対策には頭を悩ませていることと思います。たとえ採用出来たとしても、1カ月も持たなかったという話もよく聞きます。雇用条件を上げて、期待レベルの人材は集まりません。今いる社員達が何よりも大切です。

しかし、その社員達も想定外のことで失ってしまったケースがあります。注意喚起をする意味で2つの事例を紹介します。

物流業者のA社は、倉庫部門と輸送部門があります。ドライバー不足の対策として、高校新卒者を採用し、大型免許を取得できる21歳までは倉庫部門にて仕事の基本を学んでもらい、大型ドライバーを目指してもらおう予定でした。3年前に採用した1期生が今春21歳になることから、会社費用にて教習所へ通ってもらおうと話したところ、本人の表情が曇ったそうです。つい先日までは、大型免許を取得することを望んでいたはずですが、気になります。

翌日、その父親が、突然、社長に会いたいと訪れてきました。うちの子は運転手には向いていない。運転手は危険だから、会社を辞めさせると言っ

て取り付く島もありません。父親が帰った後、本人に確認したところ、父親のせりふをオウム返しに答えるのみでした。

温泉旅館のB社は、社長夫妻と社員3名の小規模な温泉宿です。リピーターを中心に、予約も取りづらいほどの人気旅館ですが、若い女性社員から突然退職の申出がありました。社員寮住み込みで熱心に働いてくれていた社員でしたので、残念ではありますが、本人が将来を考えた上で決めたことならばと快く送り出すことにしました。ところが、事情は違っていたのです。

本人は仕事を続けたかったようです。こちらもやはり、親の希望でした。実家に帰して地元の知り合いの会社へ就職させることを決めてしまったようです。

私も含めて40代から50代の親世代は、高度成長期に生を受け、好景気の時代に就職した恵まれた世代であると思います。いい会社に就職すれば、一生安泰と思っていたはずです。その世代が自分の価値観を子供達に押し付けていることはないでしょうか。

人材派遣会社のアデコ社が小中学生に調査した将来就きたい仕事がニュースとして流れ、話題になりました。なんと男の子の1位は、会社員です。今の子供たちには夢が無いなどと嘆く前に、そのように誘導してしまう親世代の平和な価値観こそ、危惧すべきなのではと感じます。



〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。